

金融サービス企業が攻撃阻止のために Enterprise Threat Protector を選択

AKAMAI ケーススタディ

要件

- 取引先企業やその顧客に問題が発生する前に、標的型脅威のすべてのインスタンスをブロックする
- 攻撃者がオープン DNS プロトコルを使用して組織から機密データを盗み出すことを阻止する
- 現行の脅威防御フレームワークに新たなセキュリティレイヤーを追加する

会社概要

地域金融サービスの某大手企業では、米国南東部の顧客を対象に、商業銀行業務および個人向け銀行業務、さらに抵当貸付および投資を専門に扱っています。

状況

当初同社の経営上層部は、最近全社規模で実施した資産分析において、ニーズを満たすコアテクノロジーはすべて整備されていると認識し、セキュリティソリューションを積極的に探してはいませんでした。しかし、急速に進化する脅威の状況により、将来問題が発生する可能性があることは認識しており、新たなセキュリティレイヤーの追加には前向きでした。同社の IT チームは、すでに Akamai のことを熟知しており、自社のネットワーク状況を再評価し今後の防御オプションを検討するために会議を開催しました。

Enterprise Threat Protector が選ばれた理由

第一回目の会議の後、Enterprise Threat Protector (ETP) の試用を開始しました。同社では、現行のセキュリティネットワークを信頼し、問題は見つからないであろうと予測していましたが、Akamai のソリューションによって検出され、緩和された問題の数と範囲を知って、驚くことになりました。ETP は、マルウェアやランサムウェア、フィッシング、ドメイン・ネーム・システム (DNS) を悪用したデータ窃盗といった標的型脅威を識別し、ブロックしたのです。残りの試用期間では、ETP によって次々に明らかになった知見により、同社の保護が不十分であること、さらに問題の発生を待たず、セキュリティ対策を強化する必要があることが明らかになりました。IT チームはすぐに ETP の本利用手続きを行い、同社は、ネットワークトラフィックを観察し、DNS レベルで脅威を検出するシンプルで便利な方法を手に入れたのです。これにより、感染の危険性や、マルウェアといった悪意あるソフトウェアの複雑な問題を回避できるようになりました。

Akamai は世界で最も信頼された世界最大のクラウド配信プラットフォームを提供しています。使用するデバイス、時間、場所を問わず、お客様が安全性に優れた最高のデジタル体験を提供できるようにサポートします。Akamai の大規模な分散型プラットフォームは、世界 130 か国に 20 万台を超えるサーバーを擁する比類のない規模を誇り、お客様に優れたパフォーマンスと脅威からの保護を提供しています。Akamai のポートフォリオに含まれる、ウェブおよびモバイルパフォーマンス、クラウドセキュリティ、エンタープライズアクセス、動画配信の各ソリューションは、卓越した顧客サービスと 24 時間体制の監視によりサポートされています。大手金融機関、EC リーダー企業をはじめ、メディアおよびエンターテインメントプロバイダー、政府機関が Akamai を信頼する理由について、www.akamai.com/jp/ja/blogs.akamai.com/jp、または Twitter の @Akamai で詳細をご紹介します。全事業所の連絡先情報は、www.akamai.com/jp/ja/locations.jsp をご覧ください。2018 年 4 月発行。